

## 「それぞれの秋」

「スポーツの秋」「勉強の秋」「読書の秋」「食欲の秋」。秋を連想させる言葉は、人それぞれです。「暑さ寒さも彼岸まで」私が小学生のころ、暑がりの私に母が言い聞かせるように用いていた慣用句です。その慣用句を耳にしながら子どもながらに「暑さを我慢」への折り合いを付けていた当時の自分を思い出します。今秋も秋雨前線の南下に伴い、秋の気配を感じられるようになりました頃に、秋の風物詩のひとつ、彼岸花が近所の土手に咲いていることに気付きました。彼岸花は、1日の最低気温が20度を下回るようになると開花するそうです。残暑が厳しかった9月でしたけれど、秋の気配の訪れと同時に開花した彼岸花に、自然の不思議さを感じます。

さて、9月中旬ごろからは運動会に向けての練習も本格的に始まりました。4年ぶりの全校一斉開催の運動会に向けて準備を進めているところです。午前開催ではありますが、全校児童が一堂に会し、互いの演技や競技を見合い、スポーツの秋を肌で感じてくれることと思います。

先日、市ヶ尾中学校ブロックで返却のタイミングを合わせ、令和5年度全国学力・学習状況調査の個票を6年生に返却しました。ほぼ同時期に協力の会の会合が開かれましたので、その際に分析結果を次のようにお伝えさせていただきました。

- 国語は、知識・技能や思考・判断・表現を問う問題は、全国平均や神奈川県平均を上回るものの「書くこと」については、若干下回っている。
- 算数は、どの領域も全国平均や神奈川県平均を上回るものの、「理由を述べる」問題では正答率が低い傾向にある。
- 生活習慣では、互いに認め合える関係づくりを通して自己有用感を育み、学校や社会のルールを守ることの大切さを教えることで規範意識を高めていくことが必要である。

学力の面では「インプット・アウトプット」の学力から「インプット・インテイク・アウトプット」の学力への転換が求められています。一人ひとりの学びと集団的な学びを関連付けながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組んでいくことの必然性が、全国学力・学習状況調査の分析結果から見て取れます。

スポーツの秋、勉強の秋、読書の秋、食欲の秋・・・子どもたち一人ひとりが思い思いに短い秋を楽しみ、有意義に過ごせることを願っています。